

令和5年度 全幼研ワクワクプロジェクト研修会報告書

主催 公益財団法人 全国幼児教育研究協会

運動遊びの保育研修会

全幼研秋田支部

提出日 令和 5年 11月 6日

- 実施日 令和 5年 7月 27日(木)
時間 13時30分～16時30分
- テーマ 「こどもと遊ぶ 運動遊び」
- 共催 秋田県放送教育研究協議会
- 会場 (認)勝平幼稚園 ひよこ保育園ホール
- 参加者 保育士・保育教諭・栄養士 (計 42名)
- 参加呼びかけ 秋田県内私立幼稚園団体、市内保育協議会団体、大学関係者
秋田市指導主事 他
- 内容
 - ・実技を主眼とした数年ぶりの、対面形式での研修会を目的とした。
 - ・キャリア・年齢・幼保・職種・立場に関係なく、体を使って笑い声が聞こえる研修会を開催したく、全幼研理事長福井直美先生にご来秋頂き「運動遊び」を主題とした内容で、講演と実技を実施した。
 - ・子どもたちの運動量が、体力や運動能力に大きくかかわる。未来を担う子どもたちが心も体も元気に健やかに生きていくため、“基本の基”となる体を使って、頭を使って遊ぶことを学ぶ。
 - ・大地を踏む足を正しく使い、正しく靴を履き、正しく歩くことの重要性を学ぶ。(足育の大切なことを学ぶ)
 - ・保育現場で日常に体を使って遊ぶ内容を、実技を通して学ぶ。自ら・心と体を働かせ、充実感と見通しをもって行動する子どもを育てる保育をしよう。
 - ・体を使っていろいろ遊ぶことで、協同性・道徳性・規範意識が身についていく。具体的な遊びを紹介。ワクワクする環境構成を考えよう。
 - ・〔まとめ〕運動遊びはワクワクドキドキ、多様な動きを工夫して、満足と自信と意欲へ子どもたちを導こう。健康な心と体が育つ。
- まとめ(成果と課題)
 - ・例年開催している秋田支部の令和5年度保育者研修会を、上記の通り開催。
 - ・これまでコロナ感染拡大で対面の研修会を避けてきたが、今年こそは互いに集まり実技の研修の場としたく計画。福井理事長にご来秋をいただきキャリア、立場に関わらず多くの子どもと関わる方々に参加を呼び掛けた。
 - ・今夏は特に暑く、その中で体を動かし汗を流し集まった先生たちと久々に笑い声の中で安心した関係の中での研修を受けた時間であった。

- 実技研修の中で、グループで工夫し、協力しながら違った動きや工夫した動きを互いが学ぶことで、子どもたちの前で動きや工夫の違いを捉えて、認めて褒めてやる保育士であることを学ぶ。
- 秋田支部の狙いとして、先生たちが体を動かす遊びがどうしてもここ数年少なくな感じ、講師の福井直美先生には「すぐに遊べる・すぐに応用できる」運動遊びを取り入れていただいた。秋田県に提出するキャリアアップ研修レポートには、「靴のサイズや履き方を保育で考えたことがなかった。」「すぐに遊んでみる。」「工夫してクラスでやってみる。」という声がたくさんあった。

○保育研修会記録写真より



〔講義の様子Ⅰ〕



〔講義の様子Ⅱ〕



まずは 準備体操



新聞紙を丸めて なべなべそこぬけ～



あれれ～ 4人でやったら
元にもどれない！
がんばれ～



新聞紙を使って、ジャンプ



さて、これから何をするのか？
相手のチームの棒を取りに行くぞー！
がんばるぞー



相手チームからこんなにとったぞー
わくわく やったー！

小学校でやった
雑巾がけ…。
キツイ！！



風船と相手に気を配りながら
移動していきます。思いやり〜



- 子どもたちに、ワクワクドキドキする運動遊びの環境を保育者が整えてやりましょう。
- 多様な動きを意図的に積み重ねる保育をすることで子どもの体力も運動能力もおのずと高まる。
- 自分でできた喜び、満足が自信につながり次の意欲となる。
- これからを生きる子どもたちが、健康な心と体でウエルビーイングとなるように育てましょう。